

土浦市中心市街地活性化協議会

平成 30 年度通常総会

第 17 回会議議事録

日時 平成 30 年 5 月 10 日 午後 1 時 30 分
会場 土浦商工会議所

通常総会

1. 挨拶

2. 議事

- 議案第一号 平成 29 年度事業報告
- 議案第二号 平成 29 年度収支決算報告
- 議案第三号 平成 30 年度事業計画（案）
- 議案第四号 平成 30 年度収支予算（案）
- 議案第五号 任期満了に伴う委員選任

第 17 回土浦市中心市街地活性化協議会

1. 報告事項

第 16 回土浦市中心市街地活性化協議会について

2. 協議

- (1) 土浦市中心市街地活性化基本計画進捗状況について
- (2) 平成 29 年度認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告について

3. その他

配布資料

資料 1	第 16 回土浦市中心市街地活性化協議会議事録
資料 2	土浦市中心市街地活性化基本計画追加変更にかかる意見書
資料 3	土浦市中心市街地活性化基本計画 新旧対照表
資料 4	土浦市中心市街地活性化基本計画 事業進捗状況一覧
資料 5	平成 29 年度中心市街地活性化基本計画 進捗状況
資料 6	平成 29 年度認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告
資料 7	第 2 期土浦市中心市街地活性化基本計画の策定について

開催日時
開催場所
出席者数
出席者名

平成 30 年 5 月 10 日（木）午後 1 時 30 分より
土浦商工会議所
委員 21 名

- ・ 中川喜久治（土浦商工会議所会頭）
- ・ 伊藤光二郎（土浦都市開発(株)常務取締役）
- ・ 大澤 義明（筑波大学教授）
- ・ 横山 和裕（土浦商工会議所副会頭）
- ・ 大竹 信長（土浦商工会議所青年部会長）
- ・ 大島トシ子（土浦商工会議所女性会会長）
- ・ 塚本 隆行（土浦市都市産業部長）
- ・ 佐竹 守正（土浦商店街連合会会長）
- ・ 関 和郎（土浦商店街連合会副会長）
- ・ 大山 直樹（NPO 法人まちづくり活性化土浦理事長）
- ・ 森 浩孝（土浦市地区長連合会会長）
- ・ 篠 捷子（土浦市女性団体連絡協議会副会長）
- ・ 高梨 将克（(株)アトレ土浦店主任）
- ・ 櫻井 裕之（土浦市金融団）
- ・ 瀬尾 達朗（土浦市金融団）
- ・ 村山 芳夫（(公社)茨城県宅地建物取引業協会土浦・つくば支部幹事）
- ・ 池田 正（土浦農業協同組合代表理事組合長）
- ・ 鈴木 康文（つくば国際大学教授）
- ・ 高木 節子（(一社)霞ヶ浦市民協会副理事長）
- ・ 永井 昭夫（茨城県建築士会土浦支部まちづくり委員長）
- ・ 寺田 正道（(一社)茨城県ハイヤー・タクシー協会県南支部）

監事

- ・ 青木 卓（(一社)土浦市観光協会前専務理事）
- ・ 大里 雅司（(一社)土浦市観光協会専務理事）

オブザーバー

- ・ 横田 清泰（内閣府地方創生推進事務局参事官補佐）
- ・ 滝 睦美（茨城県産業戦略部中小企業課長）

(土浦市)

- ・ 船沢 一郎（市長公室長）
- ・ 山口 正通（政策企画課長）
- ・ 佐々木 啓（都市計画課長）
- ・ 皆藤 秀宏（商工観光課長）
- ・ 中西 弘治（商工観光課係長）
- ・ 菊田 雄彦（まちづくり推進室室長）
- ・ 山口 晃一（商工観光課係長）
- ・ 中泉 梢（まちづくり推進室主幹）
- ・ 武井 秀一（商工観光課主幹）

(事務局：土浦商工会議所)

- ・ 松井 修一（事務局長）
- ・ 加賀美吉彦（総務課長）
- ・ 飯野 晃（商工振興課長）
- ・ 寺田 英明（商工振興課長補佐）
- ・ 稲葉 豊実（中小企業相談所長）
- ・ 森内 靖雄（中小企業相談所商工振興課係長）
- ・ 菅原 伸司（中小企業相談所商工振興課係長）

1. 挨拶

(中川会長)

皆様におかれましては、ゴールデンウィーク明けのご多用の中時間を割いてご出席いただきましたことお礼申し上げます。

また、昨日は3月中旬の寒さ、明日からは夏日になるような予報も出ておりますが、天候も不安定で足もとの悪い中でのご出席、重ねてお礼申し上げる次第です。

連休中には皆様もいろいろな出来事があったかと思いますが、私が印象に残ったのは、土浦市内でヘルメットをかぶってスポーツ自転車を颯爽と走るサイクリストを大勢見かけたことです。これにはアルカスができたことや、市役所が駅前に移転してきたコンパクトシティの象徴となる事業の効果もあると考えると我々も感慨深いところもあります。

ゴールデンウィークはこどもの日がありますが、子供の話題と言えば、37年連続して14歳以下の人口が減っており、茨城県でも35万人になっているということです。日本全体では12.3%の比率だそうです。この子供たちが将来大人になったとき、二人以下で一人のお年寄りを支えることになる社会構造の深刻さを、こどもの日に改めて意識したところであります。

もうひとつ人口推計の話題がございまして、5年前のちょうどこの協議会を立ち上げるころだったと思いますが、増田氏が座長を務めた日本創成会議での推計ですが、全国の消滅可能性都市が約800都市あり、茨城県でも16の都市が消滅するということです。このスピードがこの5年で加速しているという非常にショッキングな話も連休中にございました。

5年前にこの協議会を立ち上げる際には、近未来に人口減少は間違いなく起こりうるということは土浦市とも危機感を共有してきたわけですが、これに対してコンパクトシティの中に霞ヶ浦を取り入れて、人口減少を含む社会現象に対応する基本計画をつくる方針で5年間進めてまいりました。

4年前に基本計画の認定を受けて78事業に取り組んできたわけですが、一番大事なことは、水辺の開発だったわけですが、市単独ではできないことは分かっていたわけですので、オブザーバーとして、国と県からアドバイスをいただきました。

残り1年での水辺の開発は非常に難しくなっていますが、これに代わるべく、サイクリングロード等、提案されてきましたが、やれる可能性はまだ残っていますので、危機感を共有した中でこれにあたっていただきたいと思います。

もうひとつ大事な話題で、広島県の向島に刑務所を脱走した受刑者が3週間潜伏した事件がありました。この島には1000件以上の空き家があって、空き家に潜伏して3週間を過ごしたそうです。警察も権利の問題があって空き家の中までは捜索ができないそうです。

空き地、空き家の問題は防犯の観点からも非常に大きな危険をはらんでいることを認識しました。個人の権利も当然主張されるべきですが、いざという時には権利よりも優先されるものがあるということも含めて考えさせられた事件でした。

中心市街地活性化基本計画事業で今年一番残念だったのは、当所も会員企業と取り組んでいたプレミアム付き商品券が廃止になったことです。

中心市街地になかなか有効性を見いだせなかったということもありますが、これに代わる商業対策も検討していただかなければならないと思っています。

土浦市は基本計画の2期認定を目指すということを、先日の幹事会で発表があったと報告を受けていますので、これについても後ほど説明を受けたいと思っています。

はじめてご出席いただいた方も多くおられますので、共通認識の上で進めてまいりたいと思いますので改めて申し上げますが、中心市街地活性化協議会は、改正まちづくり三法の下、新たな中心市街地のまちづくりに取り組む都市に設置される法定組織であります。

この法律では、中心市街地を商業の活性化だけではなくて、生活空間として位置づけ、社会的・経済的・文化的活動の拠点となるような、コンパクトで魅力ある市街地を形成することを義務付けています。

あわせて、国は支援地域の選定を厳正に行う「選択と集中」の仕組みを導入し、やる気のある市町村を重点的に支援することにより、活性化の「成果」を重視するようになりました。

言い換えますと、国の大きな支援を受けるためには、その土地の特徴を活かした計画づくりに本気で取り組むこと。生活圏を集約できるよう、様々な街の機能を集中させること。計画づくりは行政だけではなく市民が参画すること。このことをチェックする組織が中心市街地活性化協議会であるということだと思っています。

平成 24 年の設立以来、私たちもその自覚をもって、土浦の特色を最大限に活かし、効果的な計画を土浦市と一体となつてつくり上げるため、協議会を運営して参りました。

その結果、霞ヶ浦など土浦の資源を活かした 78 事業を策定し、平成 26 年 3 月に総理大臣の認定を受け、翌 4 月から 5 年間の事業を進めてきたところであります。

本日は、スタートから 4 年経過した基本計画の進捗状況と、目標に対する達成状況を土浦市から説明していただきます。

事業については着実に進捗している事業が多い一方で、最終年度である本年度中に完了が難しい事業が出てきた印象を持っております。

また、指標目標も達成が厳しいとの評価をされています。

本日の会議は、全体で 2 時間を予定しておりますが、なるべく多くの皆様からご発言を頂けるよう進めて参りますので、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、オブザーバーとしてご出席いただいております、横田様、滝様に改めてお礼申し上げますと共に、本日もご教示賜りますようお願い申し上げます、冒頭のご挨拶といたします。

(横田オブザーバー)

土浦市中心市街地活性化協議会の 30 年度総会が関係各位のご尽力で開催されますこと、心よりお祝い申し上げます。

早いもので土浦市の活性化基本計画も 4 年を経過し 5 年目を迎え最終年度となりました。

さまざまな取り組みを盛り込んでいただき 4 年前に認定をさせていただきましたが、先ほどの中川会長のご挨拶にもありましたが、水辺の空間を中心市街地に新たに組み込んだことが斬新な取り組みでありますし、イトーヨーカ堂の大型商業施設の跡地をコンバージョンして市役所を移転させたこと、また新たな図書館を駅前に建設したことからコンパクトシティのモデル都市と位置付けられております。

さらに当初の計画にはございませんでしたが、駅ビルが PLAY atr'e にリニューアルされて、新たなにぎわい拠点ができてきたことは、政府といたしましても非常に喜ばしいことだと思っております。

2 期計画の話題が出ておりましたが、まずは 1 期計画の 5 年間を如何に総括するか、再開発事業である市役所、図書館が完成して成果が見られるわけですが、川口 2 丁目開発については進捗が見られない状況でありますので、この部分をどう総括して、新たな課題を見出した上で 2 期計画にどう取り組んでいくのが非常に重要になってきます。

政府といたしましても土浦市と連携を図りながら中心市街地の活性化を図っていきたいと思っておりますし、土浦市の中心市街地の活性化が周辺都市の活性化にも波及して県南地区、ひいては北関東全体が活性化するような取り組みになりますことをご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

定足数報告

(事務局)

規約の定める定足数を満たしている旨を報告。

2. 議事

(中川会長)

追加議案について議場に諮るが、異議なく提出5議案を審議することを確認。

議案第1号平成29年度事業報告、第2号平成29年度収支決算報告について事務局説明後議場に諮り異議なく承認された。

議案第3号平成30年度事業計画(案)、第4号平成30年度収支予算(案)について事務局説明後議場に諮り異議なく承認された。

議案第5号任期満了に伴う委員選任について事務局説明後議場に諮り異議なく承認された。

(閉会) 13時52分閉会を宣言し、暫時休憩とした。

13時58分 第17回土浦市中心市街地活性化協議会開会

1. 報告事項

第16回土浦市中心市街地活性化協議会について

資料1に基づき事務局説明

桜町3丁目横丁テナントミックス事業にかかる意見書提出について

資料2に基づき事務局、および資料3に基づき土浦市中泉主幹説明

2. 協議

(中川会長)

平成29年度中心市街地活性化基本計画進捗状況について、及び平成29年度中心市街地活性化基本計画の進捗状況にかかるフォローアップについて資料4、資料5、資料6に基づき土浦市中泉主幹説明。

中心市街地活性化協議会からの意見について、資料6に基づき事務局説明。

(中川会長)

ただ今、土浦市と事務局から説明があったことについて、どの項目からでも結構ですので意見を伺いたいと思います。

(森委員)

サイクリングステーションについて3月29日にオープンし、全国ネットのテレビ放送でも取り上げられるなど、非常に賑わったように思いますが、観光にしても事業にしても波及効果がでていていると思います。

2月に地区長連合会の取り組みで、流通経済大学の教授から日本から世界に向けて発信するにはどうするかをテーマに話を伺ったところ、SNSを活用して写真をつかった掲載が有効であるとのことでした。土浦の自転車に関する情報を発信していこうという動きがあるのかということ、それと土浦では世界湖沼会議が行われ、来年は国体があります。2020年は東京オリンピックがあります。土浦駅を含む中心市街地が本市の顔でありますので、この大きなイベントに対して如何に発信して来訪者を増やさなければならないと思います。

中川会長から空き家や空き地の話がございましたが、空き地を使ってテナントミックスの事業提案もありました。更地にできる空き家について、駐車場が目立ってきてしまっている印象です。商店街が賑わってくれば空き地や空き家が埋まってくると思います。とくに見えるところを賑やかにできる方策を検討できないかと考えております。

我々も地区長を通じて市民の一番近くにおりますので、市民の意見を吸い上げていただいて

活性化の対策に活用いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

(篠委員)

食の街づくり事業について、去年はカレーフェスティバルと産業祭が同時開催されました。女性団体連絡協議会とは別団体で産業祭にこれまでバザーを出店しておりましたが、これまで参加無料だったのに、場所が変わったら出店料 5000 円かかると言われました。

「バザーするのに 5,000 円かかるの」って言って、去年は取りやめた方が何名かいました。

我々は新しいことだから、一度やってみて来年も同じならやめようと相談して去年は出店しました。資料を見ると今年も同時開催と書いてありますが、去年は産業祭の意味が全然なかったように思いました。

事業概要ではカレーフェスティバルを通してと書いてありますが、よく聞くのは「カレーの街って言うけどカレー屋さんどこにあるの」「どこで食べられるの」という話題があります。

ラーメンの街や餃子の街と言っている都市はその店が並んでいると思いますが、土浦は駅前では市役所の中のレトルトカレーしかない現状。農業の街土浦を売り出すには産業祭は必要だと感じていて残念に思っています。

(中川会長)

去年は初めて産業祭とカレーフェスティバルを合同で実施して、今年は規模を小さくしても西口での開催を検討していると聞いています。霞ヶ浦から亀城公園までの大きな枠の中にあつて、我々協議会も西口を一番に交流が増えるようにと常に思っていますが、土浦市から説明をいただけますか。

(船沢公室長)

昨年新たな試みで産業祭とカレーフェスティバルを合体させて開催しまして、今年度につきましては、昨年同様に考えていますが、会場については、図書館など賑わい拠点ができましたので西口で開催できないかと検討しているところです。

(中川会長)

私の商工会議所会頭の立場としては、もちろん土浦港から全体のにぎわいも考えていますが、まずは西口に拠点ができたこともありますし、東口では商店街とのリンクが難しいでしょうから西口で開催する意味も強いと思っています。

イベントとしては、東口がやりやすいと思いますが、駅前に人が集まって波及効果を考える上では西口開催が有効だと思います。

また、協議会では土浦の三大イベントであるマラソンも西口からスタートする仕掛けも必要だとこれまで言ってきたところでもあります。

(皆藤課長)

先ほど駅前にカレー店が見受けられないというお話がありましたが、カレーフェスティバルを開催した目的はカレーフェスティバルとカレー店舗でお客さんを街に呼び込んでこようということで続けてきました。食の街づくりを進める中でフェスティバルばかりが先行してしまっているのが現状であります。

去年はその原点に立ち返って、カレー店舗を記したマップとカレー店のノボリ旗を掲げて事業を進めてきていますので、こちらもご覧いただきたいと思えます。

(寺田委員)

永い間霞ヶ浦の浄化を考えておりますが、皆さんの頭の中にある霞ヶ浦を想像していただいて、もし霞ヶ浦の水が綺麗だったらどうでしょうか、人を集客することについては何もしなくても、玄関口である土浦には人が集まることと思います。

昔の漁師は水を持たずに仕事に出かけ、湖の水を飲んでいたものでした。霞ヶ浦の浄化が必要になった背景には、この綺麗な水を欲しがった自治体があって水がめ化を国がやったために、水の動きが無くなって水が汚れたわけです。そうしたら今度は汚れた水はいらないといった自治体があったから今の状況があるわけです。

それと同時に湖底が上昇しています。霞ヶ浦には 56 か 58 河川が流れ込んできます。これらが運んでくる土砂がどこへも行けずにたまってしまいます。放射能の問題から今は浚渫もできません。霞ヶ浦の水はどんどん減っています。スクリーンで動く船は今、桜川を上げられません。どうしたらいいか悩んでいます。霞ヶ浦は太平洋まで直線で 5km しかございません。これを 100m の幅で関をつくらぬ運河を掘ってしまえば潮の満ち引きで 20 年～30 年で飲めるまでになると思います。

2000 億円かけてトンネルを掘って、中川の導水を作ることまで考えなくていいような気がします。

昔の霞ヶ浦河川事務所長とお話しした際に、私には 100m の幅で 5km 太平洋まで掘らせてくれれば、何もしなくても霞ヶ浦は生き返って、霞ヶ浦に関する悩みはすべて解決すると言っていました。私も同感であります。

現在できないでいるのはいろいろなことがあると思います。ですが、皆さんが、霞ヶ浦が綺麗になったらと思いつけていただければ、いつかは叶うことと思っています。

(中川会長)

寺田さんはヨット関係で茨城県の中心になって動いている方ですので、霞ヶ浦に対する思い入れは人一倍強いということは承知しています。この協議会でも霞ヶ浦に対する思いが強い方も多いです。毎日 6 万トンの浄化水を霞ヶ浦に放流していることを県民が税金を払って浄化していることのアピールを形にしたいという思いがありました。

霞ヶ浦導水も仲裁が認められて、動き出したという情報もありますので、中活協としても霞ヶ浦を単純に綺麗にするだけではなく、新川を浄化しながらなど知恵を絞って少しでもアピールができるような仕組みを検討していただきたいと思います。

(高木委員)

レンタルサイクルの利用状況を教えていただきたいと思います。

下妻市でデポジット制のレンタル自転車便利であると聞きました。乗る際に 100 円を入れて、鍵を抜くと 100 円が戻るもので、中心市街地の 6 か所くらいに返却可能な場所があり、市民の方が多く利用されているそうです。

最近、高価な自転車に立派なウェアを着て自転車に乗っている方を見かけますが、自転車の品評会の街になっても仕方ないので、市民が自転車を利用しやすい街になるといいと思います。

(佐々木課長)

資料を持ち合わせていないので正確にはお答えできませんが、ゴールデンウィーク中は朝一番でないとレンタルができない状況であったことは聞いています。次回までには、正確な数字をご報告したいと思います。

(中川会長)

PLAY Atr'e オープンの際には、少しでも街中を回遊していただこうと、商店街と観光協会が一体になってノボリ旗を作って誘客を図ったりしましたが、このような取り組みが連続してくると良いと思いますが、安全に走っていただく施策など市で今後検討していることはありますか。

(佐竹委員)

駅ビルがリニューアルし、アルカスがオープンして人が増えた感じはあります。

図書館には確かに人が来ていますが、街中には出てきません。車で来て目的だけ果たしてすぐ帰る方が多い。街に寄らないのは店に魅力がないからだと思いますが、計画に民間投資の参入を促すと書かれていますが、これは無理だと思います。

現在公園(亀城モール)が工事中ですが、この間にそれなりの設備を作ってもらわなければならないと思います。

駅前で特殊なヘルメットをかぶっている方たちを週末に目にします。この人たちの観るところを作るためにもこの辺りに何かあると良いと思います。

行政の取り組みに反して、店を閉めようとしている店舗が結構あります。商店街連合会でも「まちゼミ」については光る店づくりとして取り組んでいますので応援しています。

またカレー物語の看板だけではダメだと思います。土浦のカレーはツェッペリンカレーという名前がありますので、これを使って認知させることが大事だと思います。

産業祭は本末転倒で、中心市街地を実施するべきですね。商店もそれなりに頑張っていますので、商店街でお買い物をしてください。

(永井委員)

亀城モールについて、とりかかっている段階ですので、言いづらいところもありますが、完成図が現地に貼ってありますが、私の聞く範囲ではあまり評判がよろしくないです。

もう少しお金をかけないで、歴史的なことを感じられるものを取り入れられないかというのが私の印象です。

詳細な図面を拝見していないので、深くは申し上げられませんが、お金をかけずにプラスアルファを検討いただけないかと思います。

(佐々木課長)

ご発言にありましたように、現在工事が始まっており 11 月頃に 1 期分が完成する予定です。

我々も駅前に集まって来つつある人たちを街中に回遊させようと考えております。霞ヶ浦の水辺と合わせ、亀城公園周辺の歴史も本市の資源であります。

亀城モールの設置経緯は歩いて休憩できるスペースを確保する意味合いがあります。確かに歴史の部分もありますが、こちらは波を意識して模様をつけており、逆に水辺の資源をイメージした設計をしているものであります。

(大竹委員)

4 月から組織の改編に伴いまして青年部会長を仰せつかっております。

われわれも青年経済人として、カレーの食のまちづくりやサイクリング事業など土浦のまちづくりについて参画させていただいています。

まず自転車に関連して、部員約 50 名で自転車道を走る取り組みを実施しました。その中で、自転車が走りづらいつ感じました。特に湖畔側は車と並走しますので子供を連れて走るには危

険が伴います。ぜひ車と自転車を分離する施策を図っていただければありがたいです。

また、PLAY atr'e も視察いたしました。とても素晴らしい施設だという印象を受けました。街中も自転車を押して歩いて観光を楽しむ方も見受けられるようになりましたし、自転車スタンドを設置しているお店も増えてきて、こういうところにサイクリストは集まって来るのだと改めて確認しました。青年部でスタンドを作って無料で配布しようという案も挙げたくらいで、このような取り組みをどんどん広げていただきたいと思います。

今年は世界湖沼会議がサテライトとして土浦で開催されます。青年部でも飲食ブースの設置は考えていましたが、主催者サイドから湖畔をつかったイベント実施の要請を受けましたので自転車事業に絡めまして設営していく予定であります。詳細は適宜報告させていただきます。

カレーフェスティバルについてですが、我々は毎年出店をしておりますが、昨年創作部門でC1 グランプリを受賞してしまいました。当日しか営業しない団体が受賞しているのだろうかという考えもあるのですが、できれば青年部メンバーの飲食店内で販売していけないかというところも検討しています。

本年は政策提言委員会を新設しまして、カレーのことや自転車のこと、花火のこと等を 50 項目ほど取りまとめて、土浦市や活性化協議会などに提示させていただきたいと考えておりますので今後ともよろしく願いいたします。

(中川会長)

青年部は実際に行動してみても体験ですので、非常に実体的な意見がでてくると思っていますので、引き続きお願いいたします。

(篠委員)

活性化バスですが、今後運行ルート、ダイヤを見直すと書いてありますが、高齢化が進んでいますので、このようなコミュニティバスは必要になってくると思っています。

つくばの「つくバス」はしょっちゅう動いているのが見えますが、キララバスももう少し間隔短く回っていただくと利用者も増えると思います。

港町に住んでいますが、高齢者はバスの時間に出てって帰りの時間に合わせてそれまでに急いで用事を済ませるようです。これがあるから街に行けるということが助かっていると思いますが、回数が増えると利便性がさらに上がりますので、検討をお願いいたします。

(大山委員)

まちづくり活性化土浦の理事長の大山です。

キララちゃんバスは現在 3 路線 43 便走っています。今年から 7 時 20 分の B コース早朝便試験運行を始めました。皆さんからご意見を伺う中で、港町の方からも「非常に助かっているよ」というお話もいただいており、嬉しく思っています。

右回り左回りで循環する都合がありますので、時間が余計にかかることもありますが、今年にはルート見直しを重点的に取り組んでまいります。ワークショップ等のご案内もいたしますのでご意見を頂ければ幸いです。

(永井委員)

中城通りの旧水戸信用金庫跡地が非常に目に付くのですが、活用の予定はおわかりですか。ほかにも、白石楽器跡地もありますが、特に大きいので気になっています。

(大山委員)

駅前にさまざまな施設が出てきていますが、これからは民間の力が絶対に必要になってくると感じています。これらの施設を活かして如何に観光客を呼び込むかということだと思いますが、一方で事業 No29 の定住人口を増やす施策が未実施・未着手になっていたのも、非常にもったいないと感じています。何かの会議でモール 505 の上層階を居住施設にする話を聞いた時は面白いと感じましたし、コンパクトシティの中に居住施設をつくることを考えなければならぬので、具体的な案はないかもしれませんが市の考えを伺いたいと思います。

(佐々木課長)

まちなか定住促進事業（共同住宅建設促進事業）は未実施となっております。定住促進事業は、共同住宅建設促進、新築住宅建て替え補助と賃貸住宅家賃補助の3つに分かれており、建て替えと家賃補助は実施済みでございます。

共同住宅建設にも補助をしてはどうかという検討がなされましたが、建てる時に補助をして、入居する時にも補助をすると二重で補助になるということから、見合わせた経緯がありました。ただ、2期計画に向けて定住人口増に対する直接的な施策が必要ですので、工夫をしながら取り組んでまいりたいと考えております。

(高梨委員)

PLAY atr'e の第1期開業を迎えて、どのような方が今土浦に来ていただいているかデータがございますので、お伝えいたします。

レンタルサイクルの利用者内訳は6割が東京都内の方です。残りの3割が茨城県内、その他は北海道、広島など広い地域からお出でいただいております。

ゴールデンウィークを迎えてみて非常に遠方からサイクリストにお越しただけことが実感できましたので、土浦の街としてウェルカム感をだして感動体験を与えられれば、また来てくださる方がどんどん増えると思います。

サーフィンをやる方は海の近くに移住されますが、サイクリングの環境が整って土浦の魅力を感じていただければ、サイクリストが土浦市に移住してくることが将来的にあると考えています。このようなことを意識しながら取り組んでまいりますので今後ともよろしく願いいたします。

(中川会長)

我々が知りたかった貴重なデータを示しいただきましたので、これを活かすため協議会、商工会議所、観光協会も一体となって取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。

(佐々木課長)

先ほどレンタルサイクルの質問を 高木委員からいただきましたが、観光協会から数字の報告を受けましたので、お知らせします。

まちかど蔵 28年度が 1082 台だったのが、29年度は 1545 台。ほっと One は 28年度が 89 台が 29年度は 109 台となっています。

先ほどゴールデンウィークの話をしていただきましたが、28年度は 166 台に對しまして 29年度は 194 台といずれも本年度増加しております。

(中川会長)

茨城県が今年、営業戦略部と産業戦略部を新設されましたが、民間が取り組むような仕掛け

を率先して新知事の下、実践されていることを大変感心しています。工業団地の誘致にしても県は大変な努力をされてきました。このような民間の進出を市も戦略的に活動する時期であると思います。市内の工業団地が一杯なら企業の進出について貪欲に模索することが重要であると県の姿勢を見て土浦市も頑張りたいと思っています。

(伊藤副会長)

No53 の開業支援事業について、空き店舗に開業した場合に支援する取り組みですが、平たく言うと家賃補助です。家賃補助と言っても実態は 1 年間事業を継続した方に翌年度に 1 年分の家賃の半分を振り込むという性質です。

前回提案のあったテナントミックス事業についても、7 坪程度で家賃設定を安くして小資本で起業を促そうというのがこの事業の狙いだったと思います。

これらを合わせますと、起業者はスタート時点で投資のお金が必要なので、家賃補助は実績に対して支払うことも筋ではあると思いますが、思い切って開業する方に先払いで補助する対策の方が有効だと考えています。

勿論これを実施するには、いろいろな市町村の事例を勘案して実施したことだと思いますが、活かされる事業でないと意味がないので実態に合った支援にできないものかと考えています。私見ですので市側からすると違った見方をするのかもしれませんが、残り 1 年間、また 2 期計画で事業を継続するなら思い切った見直しがあってもいいのだと思いました。

(皆藤課長)

開業支援事業については、1 か月 10 万円を限度に家賃の 1/2 を補助するものです。お話のあった開業当初に資金援助するという事例は県内にもございます。この事業実施にあたっては検討段階でそのような考え方もございました。継続に当たってはその都度、研究をしていく必要性も感じております。

(大山委員)

道路の左側に青いレーンが描かれています。運転免許を取ってしばらく経ちますが、あれについて教わった事はありません。

あのレーンについてどのようなレクチャーがあるのか解りませんが、先ほど高梨委員からお話があったように、自転車を愛する方が土浦に移住することを考えた場合、この地域で大きな事故があると良くないと思っていますし、サイクリストにとっても親切的な街という舞台が必要なのだと思います。

あのレーンをどのように見ればよいのでしょうか。

(佐々木課長)

自転車道については、茨城県と沿線 14 市町村と連携で付けられるところに「矢羽」を付けております。自転車道でも危険な個所があって土浦市内でも数か所ございます。

矢羽がつけられない部分で危険な個所について、検討しておりますが県のガイドラインに従って、どの市町村でも共通の矢羽を付けている状況です。

(大山委員)

市の運転マナーの向上に資する施策があるといいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

(関委員)

次回までに市に調べていただきたいのですが、商店街連合会では 10 年以上前から西口でカーフェスティバルを開催して欲しいと言いつけていました。

その回答は水道、電気等々の問題で絶対にできないと言われてきました。これが今になってできる方向に持っていけるようになったのはなぜなのか。あの時点でできなかったものが、なぜできるようになったのかを次回までに回答いただきたいと思います。

(皆藤課長)

以前から西口開催の要望があったことは伺っております。以前は歩行者天国にして 2 日間実施できないかということについて検討した事例がございます。

実際に 2 日間実施するにあたっては、朝 4 時頃にテントを路上に設置して、トイレ、水の準備をして、夕方撤去。二日目に同じ作業になると、非常にコストがかかるということで難しいという回答をさせていただきました。

今回は、歩行者天国は設けなくて、モール 505 や市役所前や駐車場を借りて開催することを検討しています。ただ衛生的な課題がまだ残っていますので、保健所との調整は必要であると考えています。

(関委員)

以前から歩行者天国ではなくて、モールでも提案してきたのに「No」と言われてきました。亀城公園も「No」と言われています。

(中川会長)

いずれにしても危機感を共有して事を進めることが大事なことだと思います。

時間も迫ってまいりましたので、まとめたいと思いますが、本日いただいた意見を参考にしながら、フォローアップに対する協議会からの意見を修正いたしますが、修正内容については、私に一任いただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

「異議なし」

ありがとうございます。

続きまして、その他の部分ですが、冒頭から話のあるとおり土浦市では 2 期計画認定を目指して本年度策定委員会を設置すると聞いております。これについて、土浦市から説明をお願いいたします

資料 7に基づき、土浦市長坂主幹説明。

(佐竹委員)

策定に当たってはできるだけ早めに取り組んでいただいた方がいいと思います。

これから、商店街ではいろいろな行事が出てきますので、意見聴取する機会の調整が難しくなってくると思います。

(中川会長)

冒頭人口動態の話をしたのですが、これから 20～30 年で水戸市よりつくば市の人口が多くなるような話もあります。その時土浦市も 10 万人台になってしまう推計もありますので、この

ような危機感を持った中で基本計画を策定したつもりですし、2期策定にあたっては更に想定と違って来ること踏まえ、これに対応した施策を早急に検討して行くことが重要だと思います。

最後に大澤副会長とオブザーバーのお二方からコメントをいただきたいと思います。

(大澤副会長)

フォローアップに関してだけコメントさせていただきます。

4つの指標 KPI がありまして、居住者と空き店舗数が苦戦している状況です。これに関してはもう少し理解を深めた方が良いと思います。どこの都市でもこの指標は苦しんでいるところだと思いますので、こういったところと比較しながら「ハードルが高すぎた」であるとか、地域の中でもここは上手くいっているけどここは上手くいっていない、外のところはどうか等、もっと深く突っ込んだ議論が必要だと感じています。

(滝オブザーバー)

この会に出席して非常に現実的なお話を聞けたのですごく勉強になりました。

計画の節目の時に数字で成果が表れてくる部分があります。中小企業振興課で商店街振興を行っていますが、ハードを整備しているけれど人が街なかに戻らない。大きなイベントをやっても一過性だと言われてしまう状況が他の地区でもあります。

9割の商店街の方たちがこれから新しい取り組みへの課題を持っています。2期に取り組まれるにあたって、テナントミックスもそうですが、課題も含めて私たちでお手伝いできる部分はないかと考えながら参加させていただきました。

家賃補助を先払いにしてはというお話がでていましたが、伊藤副会長がおっしゃるように、投資だと思って一定程度で出せるなど、県も含めた行政がそういった少し発想の転換をすることが必要なのだと感じました。

(中川会長)

金融団がいらっしゃいますが、銀行にもフォローをお願いできれば心強いですので、よろしくお願いいたします。

(横田オブザーバー)

私からは2期計画を目指すということですので、留意事項をお話いたします。

国としては1期2期という分け方はしておりません。基本方針を見ていただければお分かりになると思いますが、延長線の計画は認めておりません。

便宜上2期計画と申し上げますが、これを策定されるのであれば1期計画と全く違う内容のものを作ってくださいことが基本的な方針です。

今後、内閣府との調整になりますが、あくまで新たな計画ですので、プラス5年を継続するのだということでは単なる延長になりますので、2期計画にはなりませんのでご留意いただきたいと思います。

そういった意味では現在の計画は一定程度成果が上がっているという部分があります。市役所、図書館ができて、当初計画にはなかったPLAY atr 'eができて、休日の賑わいが全くなかったところからサイクリストが訪れるようになり、ある意味で良い流れになっていると思います。

一方で川口二丁目の開発においては、1期計画で書かれながらまるで進捗が見えない状態の事業を2期計画の認定審査の段階で見ますので、こういったものを如何に精査し、どう総括す

るのか。

総括したうえで、今後 5 年間どういった取り組みをして行くのかという形で新たな計画を作っていたらと思います。

計画を作った自治体の 7 割程度は 2 期計画を目指しますが、実際に認定される割合は 50% 以下です。ですから、ヒアリングを受けたからといって必ず通るものではないです。

先ほど申し上げたように、5 年間で見えてきた新たな課題に対応するための計画であることが重要で、このことに軸足を置いた計画を作っていたら、逆を言えば残り 50% 程度は通るので、可能性はあると思います。

言い換えますと 1 期計画は最初ですので国もやる気があればバックアップする方針ですが、2 期計画になると 1 期計画で莫大な財政支援をしたにも関わらず、成果が不十分であると判断されれば認定は難しいということになりますので、そうならないように 5 年の総括の上に次の計画を作っていたらと思います。

(中川会長)

皆様貴重なコメントありがとうございました。

大澤副会長におかれましては、1 期に引き続き第 2 期計画策定委員会の委員長に就任いただけるようであり、横田オブザーバーにおかれましても支援する側の立場から色々なお話を伺えるという、素晴らしいメンバーでこの協議会を運営して行けますので、充実した計画を策定していただきたいと思います。

策定が進められる中で協議会にも報告いただき、皆様のご意見を反映させて行きたいと思っております。最終年度となった 1 期の総括と 2 期に向けた計画策定と同時進行となりますが、活性化が成就するよう進めてまいりますので、今後ともご協力をお願い申し上げまして閉会いたします。